

(様式2(1))

事業所名 カルム箕谷

作成日: R3 年 1月 22日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	8-7	制度に直接関わる機会がほぼ無い為、研修をしても頭に残らない。年に1回は内部で研修を実施しているが、専門の講師を招いては行っていない。質問等があっても的確に答えられる人がいない。	・感染防止を考慮し少人数での権利擁護の研修を実施する。 ・コロナ収束後に行う研修の形態を精査する。	・研修の資料を準備する。 ・2部、3部制で職員の割り振りや日程を決める。 ・コロナ収束後、専門講師について、グループホーム連絡会やネット等で情報を仕入れる。	3ヶ月
2	11-10	今年度はコロナの影響でいろんな面で変化があったり変更が必要になっている。職員一人一人の多面的な意見を聞き取って参考にし反映していくことで、職員の結束力、団結力が高まり、難局を乗り越えることができるのではないか。	・職員がやりがいを持ち、生き生きと働けるよう、意見が言いやすく、反映できる職場環境を整える。	・いつでも記入できるよう自由記入用紙をデスクに置いておく。 ・ミーティングで意見を募る。 ・上がった意見は職員間で検討しまとめて施設長に上げ結果を職員に返していく。	6ヶ月
3	35-17	災害で通信が途絶えた場合の規定がない。実際に起こった場合、どう動けばいいのか把握していない。	・災害で通信が途絶えた場合の職員招集の手順を整備する。	・職員から意見を収集する。 ・災害時にできる対応を個々に確認する。 ・意見をまとめる。 ・たたき台を作成。 ・施設長に確認、精査する。	3ヶ月
4	49-22	コロナ禍において、外出の機会が減っている。駐車場内を散歩したり、フロア内で運動しているが、運動量、活動量が減り、閉鎖的な環境で過ごすことによって、身体能力の低下や認知症の進行が心配される。	・新型コロナ感染防止策を講じながら1日の活動量を増やし、身体能力の低下や認知症の進行を防ぐ。	・天気の良い日には順番に外に出て、木々や草花、空気の温度、匂い等、五感で季節を感じていただく。 ・見守りが必要な入居者が多いため、職員が連携し、散歩の時間を確保する。 ・積極的に実施する。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。